

立つる事

- (2) 各支部の積立てせる基金は組合本部の所有とする事
- (3) 爭議基金は爭議以外の費用に借出しせざる事。爭議解決直後直ちに回収する事
- (4) 爭議又は紛議の場合に於いて會社又は其他の相手より受取る爭議費用の百分の五を爭議基金として積立つる事
- (5) 爭議基金の管理は各支部一名宛毎年大會に於いて選出し此等の委員は爭議基金監理委員會を組織し委員長一名會計一名を互選し保護の任に當る事
- (6) 委員會には組合長、會計、主事、爭議部長の出席は許すも決議権は有せざる事
- (7) 基金は有利確實なる預金となすべき事

(廿) 鐘紡賃銀値下反對に關する件

提 案 關西紡織労働組合

理 由

吾國紡織産業の王國を以つて自ら任じてゐた、鐘淵紡織

は、賃銀二割一分の値下を發表し、労働者を餓死の淵に投込むに至つた。多年温情主義の美名の下に、二萬の労働者を備へし、搾取をほしめしにしたる彼等は、遂に其の本質を曝露した。鐘淵の労働者は温情主義の美名の下にまよはされ、今だかつて階級的なる労働組合の結成をなさなかつた。それは決して此等の労働者が自覺することを欲しなかつたからではなく、一時温情主義にマヒされてゐたに過ぎない。最早明白に資本家階級としての本質を表明したる、賃銀値下が行はれた結果は、決然として吾等の陣營に投じ來りつゝある。一方此の賃銀値下が他の資本家階級に、有力なる口實を與へ、到るところに値下の急速なる實現をみつゝある。故に吾等組織労働者は、飽くまで反對し鐘紡二萬の労働者の奮起を促さなくてはならぬ。

決 議

鐘淵紡織に實施せられたる賃銀値下は、労働者階級を餓死線上に突き入れ、資本家階級の搾取の魔手の露骨なる表現である。温情主義の假面を披捨てたる彼等は、いよいよ労働者階級に壓迫と強制を加へつゝある。吾等はいよいよ資本家の攻勢に斷乎たる決意と反對運動をなすと同時に、鐘紡二萬の労働者に温情主義の本質を曝露し、我等の陣營に組織し一大反對運動を決定せんとするものである。

實 行 方 法

- 一、温情主義、産業合理化の真相を曝露せるビラ、ポスター類を配布すること
- 二、細胞的に各工場に組織を延し、此れをストライキに導くこと
- 三、鐘紡本社に抗議文を突付けること

(廿一) 産業別労働團體共同闘争委員會組織提唱の件

提 案 關西紡織労働組合

理 由

無産戦線の統一は吾等の久しく待希んでゐるところである。然かるに統一の叫びはますます反對の結果を生じ、分裂に分裂を重ね、四分五裂の状態におかれてゐる。四分五裂の状態は無産階級に多大の損失を與へ闘争のエネルギーを無爲なることに消費し、力を弱め、労働者階級に無産團體の信用を失はせる以外何のものもない。一方資本家階級に一

つの分裂策を興えることになる。

然らばかかる分裂は何によりて來つたか、指導精神の相違、感情上の對立によりしことも認められることである。然し乍ら指導精神の可なり同一なる團體が分裂してゐることを見るときに、同一の敵たる資本家階級に對する熱意が足りなかつたからではないか？

然らば此の分裂は如何にすれば合同への進展に進ましめ得るか、それは單なる合同の叫びによつてはなされ得ない共同して資本家階級と闘争することによつて合同への光明と可能を來すのである。然かしてその闘争を全的ならしめるために先づ同一目標の闘争を共同して敢行することにあると思ふ。然かして此の闘争の過程に於いて合同の機會を絶えず把み、合同の機運を進めんと欲するものである。かかる故に共同闘争委員會を組織することが絶対に必要と思ふものである。

一大トラストを結成してゐる各資本家に戦ふ、労働組合が一工場内部に於て分裂し、常に資本家階級に攻勢のすきをあたえてゐる。例へば合同紡織工場に於ける組合同盟、全國同盟、總同盟の對立の如き、合同紡天満工場に於ける總同盟、全國同盟の對立の如き、福紡福山工場に於ける總同盟全國同盟の對立の如き、此等のことを見るときに